

Rotary Club of AMA weekly report.



2017~2018年度
国際ロータリーテーマ

ロータリー
変化をもたらす

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail:kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2017~2018年度
RI会長 イアン・ライズリー

第2760地区ガバナー 神野 重行
会長 立松 絹久
副会長 山田 尊久
幹事 田邊 正紀

例会日 毎週月曜
例会場 名鉄グランドホテル

【会報委員会】

委員長 北澤 英一・山田 広明
後藤 雅光・木下 章吉
光岡 朗・山田 幸治

2017年9月25日(晴れ) 第3週 第2208回例会

Song ” それでこそロータリー”

Attendance

会員	79名	欠席	11名	出席率	84.06%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time

立松絹久 会長



皆様、こんにちは。徐々に秋めいて参り、朝晩寒くなってきましたので、体調管理には十分お気をつけください。

9月11日から9月16日まで地区補助金事業であまRCのメンバー総勢22名で、ブータン王国のワンディ・ポダンへ行き子供たちの運動靴と教材を支援して参りました。藤田隆志国際交流委員会委員長をはじめ皆様の協力のもと、無事、事業を遂行することが出来ました。ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。ということで、本日の卓話は国際奉仕委員会の担当で地区補助金事業報告です。楽しみにしていただけたいと思います。また、次週はガーデンレストラン徳川園にてお月見夜間友愛例会になります。親睦活動委員会で楽しい企画を考えて頂いておりますので、是非皆さんの参加をよろしくお願いいたします。

10月は「米山月間」です。米山記念奨学会についてお話

しさせていただきます。皆さんもご存じだとは思いますが、米山記念奨学会は、初めて日本にロータリークラブを創設した米山梅吉翁の遺徳を記念し設立されたもので、日本に在留している私費外国人留学生に対し給付型奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。全世界の国・地域を対象とし、奨学生の母国と日本の親善友好をはかり、ひいては世界の平和に貢献することを目的としています。財源は、全国のロータリアンからの寄付金を主な財源としています。最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。奨学生一人一人に地域のロータリークラブから世話クラブが決められ、ロータリーとの交流の起点になります。世話クラブのカウンセラーは奨学生の相談役として精神面を支え、また奨学生が例会に参加したり、ともに奉仕活動や地域のイベントを体験することにより互いの理解と親善をはかります。この制度こそが絆をはぐくむ土壌となります。事業の目的としては、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。195

Today 10月 4日(第2209回)

担当 北島奈穂子 親睦活動委員長

演題 お月見夜間友愛例会

於：ガーデンレストラン徳川園

18:00(10/2例会振替)

Next Week 10月14日(第2210回)

担当 立松絹久 会長

演題 ワールドフード+ふれ愛フェスタ

於：久屋大通公園

10:30(10/16例会振替)

2年、東京RCが発表し海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業を設立する目的で作られ、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために国際親善と世界平和に寄与したいという、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。簡単ではございますが、会長挨拶にさせていただきます。

Secretary Report

田邊正紀 幹事

- 1 次回例会は10月4日（水）お月見夜間友愛例会です。10月2日（月）の例会振替となります。
- 2 鈴木和彦君がベネファクター・第20回米山功労者に寄附されました。
- 3 後藤雅光君に第4回MPHFピン・第2回米山功労者感謝状が参りました。



4 加藤 徹君にPHF認証状とピンが参りました。



- 5 伊藤英毅君に第2回MPHFピンが参りました。



- 6 大竹敬一君に第2回MPHFピンが参りました。



- 7 山田尊久君に第2回MPHFピンが参りました。



- 8 中西 巧君に第1回MPHFピンが参りました。

ニコボックス

ご投函有り難うございます

立松絹久 会長

ブータン地区補助金事業参加の皆様、有り難うござい

ます。

山田尊久 副会長

ブータンの子供達の歓迎の踊りは、豊かな自然の優しさを感じさせてくれました。

ブータンの旅は、仲間の良さに気付かされる旅でもありました。

田邊正紀 幹事

藤田隆志君、地区補助金事業報告、よろしくお祈りします。

藤田隆志君

先日、地区補助金事業でブータンへ行って参りました。皆様のおかげで、無事帰って来れました。有り難うございました。

前田重廣君

ブータンご参加の皆様、お疲れ様でした。

川口信義君

先週末退院でき、久しぶりの出席です。木下君、後藤袈裟美君、光岡君、お見舞い有り難うございました。

児玉憲之君

ブータン支援に参加の皆様、大変お世話になりました。楽しく貴重な体験ができ、有り難うございました。

山田幸治君

「海ゆかば 水漬く屍 山ゆかば 草むす屍 大君の邊にこそ死なぬ かえりみはせじ」作詩・大伴家持

船原久尚君

藤田隆志君、鈴木君、先日のブータンでは大変お世話になり、有り難うございました。

後藤袈裟美君

お久しぶりです。川口君、退院おめでとう！

栗木和夫君

光岡君、ご馳走様でした。

黒野晃太郎君

孫の運動会、面白かったです。

後藤袈裟美君、川口君、お元気そうでなにより。

上田博行君

女の子の孫が出来ました。お祖父ちゃんにしてくれました。

今西邦弘君

ブータン王国補助金事業参加の皆様、お疲れ様でした。

伊藤英毅君

本日、後藤袈裟美君、川口君の元気なお姿にお目にかかれて幸せです。

北島奈穂子君

ブータン参加の皆様、お疲れ様でした。

三木勝也君

ブータン地区補助金事業報告お疲れ様でした。横井ニコボックス委員長からお土産を頂きましたので。

水野 眞君

名古屋納屋橋付近が新しく生まれ変わりました。29日、オープンお越し下さい。住民より。

水谷安紀君

ニコボックスの皆様、ご苦労様です。

竹田竜一郎君

先日、荘川ゴルフに参加させていただき、とても楽しい時を過ごさせていただきました。西川君のステキな別荘に宿泊させてもらい、参加の皆様にも大変お世話になり有り難うございました。今後ともよろしくお願いいたします。

山本輝幸君

ブータンお疲れ様でした。お土産有り難うございます。

横井久雄君、児玉憲之君、田邊正紀君、藤田隆志君

田中正博君、前田重廣君、山田尊久君、真木伸一君

立松絹久君、青本道春君、山田幹夫君、鈴木與左衛門君

インド・カルカッタ領事・テンレイワンチュクさん（愛知万博のブータン館長）より、松茸の差し入れがあり、大変美味しく頂きました。食べた分だけ頂きました。

（合計34本）

合 計 78,000円

地 区 補 助 金 事 業 報 告

国際奉仕委員会

委員長 藤田隆志君

本年度の国際奉仕委員長を仰せつかっております藤田隆志です。先日、地区補助金事業として、ブータン王国へ行って参りました。まず結論から言うと、行った事の無い方は、ぜひ体験して頂きたい。非常に貴重な経験をさせて頂



きました。今日は、卓話として、そのご報告をさせていただきます。30分頂きましたので、報告からそれたお話も含めたいと思います。

まずは、今回の事業を実施するにあたって、大変お世話になった3名の方をご紹介します、感謝申し上げます。1人目は、半田RCの松石ともゆきさん。愛知万博以来のブータン王国とのつきあいで、過去6回もブータンを訪問されています。今回、間を取り持って頂き、途中まではブータン側との折衝も彼にお任せ状態でした。2人目は、ブータン王国 在インド・コルカタ総領事のティンレイ・ワンチュクさん。和歌山大学に2年留学経験があり、日本語が少し話せるので、意思の疎通に大変助かりました。また高級官僚としての人脈を生かして、多々お世話になりました。3人目は、ブータン王国教育省 学校教育局のカルマ・テンジンさん。受入側として、実務的な準備は、全て彼にして頂いています。

では、ブータンでの活動報告の前に、まず出発までの経緯を簡単にお話しさせていただきます。なぜ今回の内容について多々疑問点がでると思います。そこにつながる部分もございまして。最初は、なぜブータンか？昨年、ブータン国王に会えるかもしれないと盛り上がったのが始まり。しかし翌年3月に、藤田秀樹さんは転勤。なぜ靴か？東京の領事館にて相談した所、靴をバイク山岳地帯へ運ぶ団体を紹介された。王室やロータリーの方も関わりがあるとのことで決めました。なぜ半田か？愛知万博以来ブータンと長い付き合いの半田RC松石さん（今年度副会長）よりお誘いがあり。一緒に入国すれば、オフィシャルビザで入国でき、国内の移動もスムーズとのことで決定しました。しかし、半田RCのグローバル補助金申請が進まない・・・ご多忙である皆様のご予定と、飛行機が小さい為満席になりやすい

予約を早急にすめる為、あま単独に変更。なぜワンディ・ボダン県か？当初予定地のタシガンの近隣空港が閉鎖中と判明。首都から3日かかる。本当に支援したい場所は、日程的にも体力的にも難しいという課題です。で、あわてて変更して申請書を提出。なぜ2人で下見？急遽あま単独になった為、相手方との直接の関係作りと、不慣れな国の実態調査が必要。靴を少し良いものにするのと、高校で知事をお呼びして贈呈式をすることが決定。なぜ観光？6月に眞子さまがブータンを訪問。奥様方の参加が増えたため。

さて、ブータンへ3泊5日の日程で出発です。前回例会のあった11日の夜10時に集合して、深夜00:30にセントレアを出発。タイでの乗換2時間を含め12時間半かけて、現地時間午前10時前にブータン到着です。入国手続き後、1時間半、首都ティンブーへ移動。ホテルチェックインと昼食を済ました後に、市内観光を行いました。大仏前広場では、国王と同格のお坊さんが、読経中。写真不可、立ち入り不可でした。国の成り立ちは、日本で例えれば、戦国時代に本願寺が織田信長に勝って日本統一して立てた国。右の写真は、タシチョゾン。政府兼王宮兼お寺の総本山。夜は、教育省カルマ・ツアーリング学校教育局長主催の歓迎会。会長の挨拶の後、1人ずつ自己紹介。右上は、バター紅茶。お米のフライを入れて飲みます。お祭りで行う、お面をつけての踊りで主なものをダイジェストで踊って頂きました。ただ、現地の酒でアラという麦焼酎だけで鑑賞するのがお作法の様で、30分過ぎるあたりから我慢できず。途中で、踊りが終わる前に食事を食べたいとお願いしました。最後に手に手つないでもやりました。

さて2日目です。今回支援するのは、首都ティンブーの隣の県のワンディ・ボダン県の学校。ワンディ・ボダンは、ブータン最大の産業である水力発電（インドに売電）、新しいダム建設現場に近い。建設業者が多く、貧富の差があります。朝7:45に出発して、標高3,100mの峠を越えていきます。峠は残念ながら煙っていてヒマラヤ山脈はみえず。ただ帰りの飛行機からは、エベレストが見えました。10時過ぎに贈呈式会場のバジョ中高校へ到着。2時間半かかりました。今回対象となる学校4校の校長先生と副校長先生がお出迎えに来て頂きました。講堂に対象の生徒424名が集合。我々は、ステージに着席して、知事・教育省局長の到着待ち。到着。立松会長に英語で挨拶して頂きまし



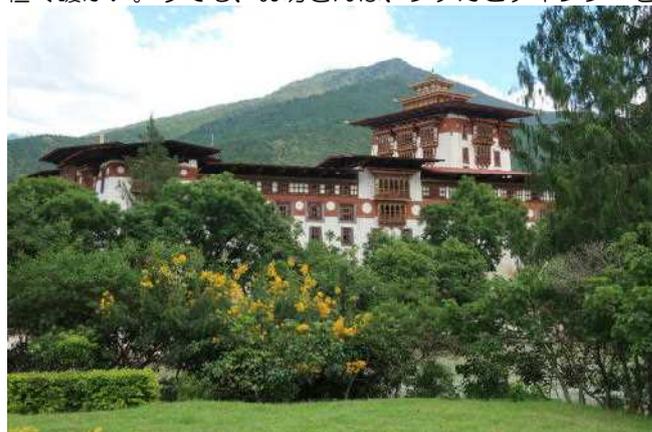
た。正確には田邊幹事に英語に翻訳して頂きました。その後、県知事より挨拶頂きました。県知事は、挨拶の中で日本とブータンとの友好についてお話をされたようです。4校の学校の代表が、それぞれ舞踊を披露。なかなか上手で、前日の歓迎会の人よりうまかった。9月4日の例会で、皆様方から頂いたカンパは、97,000円になりました。有難うございました。サッカーボール8個とバスケットボールを8個購入させて頂きました。向こうで空気を入れて、子供と遊びたかったのですが、殊の外喜んで頂き、知事から校長先生へ手渡しとなりました。この後、校庭へ移動して支援品を渡すのですが、今回の支援品の領収書です。年収の低い生徒をピックアップして、424名の子供たちに運動靴と教材一式を支援します。少し予算オーバーしております。申し訳ございません。424個の運動靴と教材一式は広



場に移動し、皆で手分けして子供たちに手渡ししました。フォローですが、手渡す際は決まっています。靴は、個人ごとにサイズは違うし、学年毎に内容が違うので、途中で分からなくなってやめました。贈呈式の後には、県知事さんと昼食会。会長と県知事と固い握手をしています。しかし、帰るときに子供たちが「さようなら」と手を振って頂けるのは、やはり最高です。教えたのは、鈴村さんです。そして、贈呈式の模様と靴等を手渡ししている場面が、その夜のTVニュースで放映されました。



さて、ここからは、観光です。短い時間で凝縮してブータンの魅力をお伝えします。プナカゾン。ゾンは城と寺と役所を兼ねた建物。プナカは、1955年まで300年ほど冬の首都（王宮）。夏はティンブーに移ります。標高1000m低く暖かい。今でも、お坊さんは、プナカとティンブーを



夏冬で移動します。現在の国王（日本に来た）の結婚式もここで。無事贈呈式も終わり、これから観光ということで、皆さんごやかに談笑です。さすが城で、急な石段を上ると更に木の急階段。登りきると、ボダイシュの大木のある広い中庭。今でも県庁、お寺として使われているので、大きな声で話をしたら、叱られました。撮影禁止でしたが、この奥のお寺の中の仏像などもなかなか良かったです。2日目の夕食です。無事、贈呈式も終わりましたので、皆で乾杯です。アルミホイルしか見えませんが、ティンレイさんより、焼きマツタケの差入れです。キッコーマン醤油も一緒に差し入れ頂きました。



3日目です。国の動物、ターキン。頭はヤギで体はロバ。中国ではパンダ・キンシコウと並び、3大珍獣に数えられることあり。首都ティンブーの掘ったて小屋風のお土産物屋さんの通りです。カラフルな織物製品、竹細工など、手作りの品が並びます。先ほどご紹介した地元のお酒を買い、お土産屋の後ろのビルに直行された方も多数。右下のキーホルダーは、犬山田神社のおみこしと同じ、男性の一物をかたどっています。魔除けとして、田舎に行くと、家の壁に描かれていたりします。地元の青果市場に来ました。王制100周年の記念で建てられた2階建の市場です。1Fは、インドからの輸入品、2Fはブータンで採れたものが並んでいます。シーズンは終わりかけですが、まつたけ。唐辛子、ボイルして色を抜いてから乾燥させたオレンジ色の唐辛子。お買いものになると、奥様方は目がキラキラしていました。

14世紀創建の古いお寺。タチョガンと言います。道路からは、まず川原へ降りて、吊り橋で川を渡った後、急坂を登ってたどり着きます。昔は鉄の鎖でできた吊り橋を使ったようですが、現在はすぐ横にかけられた普通の吊り橋を渡ります。寺の中では、お坊さんから聖水を手のひらに受けます。サフランで色付けされています。本当は飲むらしい

ですが、絶対お腹をこわすので、飲むふりをして頭に掛けます。左の写真は、眞子さんも訪れた国立博物館。お祭りのお面等が展示されています。ここで、にわか雨が降ってきたのですが、お寺もそうですが、門をくぐった瞬間から、帽子と傘は不可。真ん中が、山の上の崖に築かれたタクツアン僧院。上るのに3時間かかるので、遠くから写真だけ。右は、ブータン人のおじさんではなく、民族衣装 "ゴ" を買ってすぐ着た田中正博さん。あまりなじんでいるので奥様から、置いて帰ろう！と言われたとかいないとか。女性陣を中心に、夕方から街へお買いものツアー。最終日の宿泊は、奮発してグレードアップしたホテルに泊まりました。ティンレイさんのお友達価格で、UP額は半分です。なんと眞子さんも宿泊されていました。宿の宿泊者用の雑記帳に、秋篠宮眞子の文字が！泊まれたスイートルームの中も見せて頂きました。バスルームが2つあって、通常より10万円位のアップだそうです。

以上、至らない点が多々あり、ご迷惑をお掛け致しましたが、何とか無事に帰って参りました。ご参加頂いた皆様に恵まれ、ほんとに感謝の心でいっぱいです。名前はあえて申しませんが、終始暖かく見守って下さいました。知らない所で、相手方にご配慮いただきました。豊富な国際奉仕活動の経験から、ご助言、行動頂き助けて頂きました。博識で楽しいお話を聞かせて頂きました。大きな心で、強行日程にご協力頂きました。ほぼ通訳状態で、進行を司って頂きました。公式カメラマンとしてずっと撮影頂きました。等々、本当に参加頂いた皆様のお蔭で、無事に帰って参りました。最後に、貴重な体験のできる国際奉仕活動に、多くの皆様にご参加されることを祈念して話を終わりたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

